

Q1.

アプリの「ハードウェア ページ」を開いてみよう。「ブロック情報」の「名前」というところに出ている青い文字がロボットの名前だよ。ここをタップすると、ロボットの名前を別のものに変えることができるんだ。

ロボットの名前のことで、次の中から正しいものを選んでね。

*

- ロボットにはどのような名前でもつけることができる
- ロボットの名前に使える文字と使えない文字があるが、どれだけ長い名前でもつけることができる
- ロボットの名前にはひらがなは使えないが、カタカナを使うことができる
- ロボットの名前には、アルファベットと数字、一部の記号しか使うことができない
- ロボットの名前は一度変えたら変えられない

正解

- ロボットにはどのような名前でもつけることができる
- ロボットの名前に使える文字と使えない文字があるが、どれだけ長い名前でもつけることができる
- ロボットの名前にはひらがなは使えないが、カタカナを使うことができる
- ロボットの名前には、アルファベットと数字、一部の記号しか使うことができない
- ロボットの名前は一度変えたら変えられない

解説

ロボットの名前には、ひらがなやカタカナ、漢字を使うことはできないんだ。名前の長さも限界（げんかい）があるよ。また、名前はいつでも変えることができるよ。

ただし名前を変えても、電池を入れかえるときに「EV3」にもどってしまうことがあるんだ。そのときには、もう一度名前をつけ直してみてね。

Q2. 次のうち、ゴリラ・ロボットではできないものを選んでね。

*

- 何かが近づいてきたら両うでを上げ、遠ざかっていったら両うでを下げるプログラム
- あたりが暗くなったら鳴き声を出すプログラム
- 勢い（いきおい）よくうでを上げて、たおれそうになったら、うでを下げるプログラム

正解

- 何か近づいてきたら両うでを上げ、遠ざかっていったら両うでを下げるプログラム
- あたりが暗くなったら鳴き声を出すプログラム
- 勢い（いきおい）よくうでを上げて、たおれそうになったら、うでを下げるプログラム

解説

「暗くなってきた」ことは、実は、ゴリラロボットに取りつけてあるカラーセンサーで感知することができるよ。Vol.8でカラーセンサーのそのような機能（きのう）を使うから楽しみにしていてね。

「たおれそうになったら」という状態（じょうたい）を感知するのはちょっと難しいよ。Vol.9で学ぶ「ジャイロセンサー」を使うと、ロボットがかたむいたりしたことを感知することができるんだ。ジャイロセンサーを使えば、「勢い（いきおい）よくうでを上げて、たおれそうになったら、うでを下げる」プログラムも作ることができるかもしれないね。

Q3.

ゴリラ・ボットのうでは1周させられないようになっているよ。その理由として、最もふさわしいものを選んでね。

*

- かっこうわるいから
- コードがからまって（引っかかって）しまうから
- 1周できるようにすると、電池がすぐになくなってしまうから
- 1周できるようにすると、組み立てに必要なブロックがたりないから

正解

- かつこうわるいから
- コードがからまって（引っかかって）しまうから
- 1周できるようにすると、電池がすぐになくなってしまうから
- 1周できるようにすると、組み立てに必要なブロックがたりないから

解説

実際にうでを回してみると、後ろで足にひっかかるようになっていよね。
もちろん、この足を外せば1周させられるようになるけど、1周させたらコードがからまってしまふよね。

プログラムを作るときやロボットを組み立てるときに、「こうしてほしくない」という条件（じょうけん）があるのならば、それができないようにしておくによいんだ。今回ならば「うでを1周させたくない」から、1周できないように組み立てているよね。身の回りにも「まちがったときにも安全なようになっていよ」ものがあるはずだ。

例えば、スマートフォンやタブレットは、充電（じゅうでん）していて100%になると、かつてに充電がとまるようになっていよものが多いんだ。当たり前のように思ふかもしれないけど、もし、100%を超（こ）えて充電しようとするよ、最悪の場合は火事になつたりすることもあるんだよ！

ほかにもそのような例がないか、考えてみよう。